

事例紹介 ニュータウン地域における自動運転による移動サービス実用化に向けた環境整備に係る調査

事業概要

顧客名	国土交通省・国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
調査内容	歩車分離など走行環境が整っているものの、高齢化が進行するニュータウン地域の地域価値維持向上や路線バスの人員不足への対応を目的に、地域における公共交通ネットワークへの自動運転サービスの社会実装に向け、社会課題を整理の上、実証実験を通じてビジネスモデルの構築検討を実施した。
日本総研の役割	<ul style="list-style-type: none">既存の交通計画・インフラにおける位置づけの整理、運用面における課題の抽出サービスコンセプトの構築事業シミュレーションを通じた採算性の検証およびビジネスモデルの検討アンケートを通じた社会受容性の課題の検討



実証実験の様子

日本総研の支援内容・特徴

事例調査

運用モデル構築

社会受容性の検証

事業採算性検証

官民連携の事業スキームを検討の上での事業性検討

事例調査から運用面の課題・社会受容性の詳細な分析

- 地域公共交通に関する業務経験を活かし、官民それぞれの役割や地域の需要に応じた事業シミュレーションから、自動運転実装の可能性を検証
- 社内外のMaaS、モビリティの専門家のヒアリングなどを有効に活用して、運用面の課題や社会受容性の質問項目について整理を行い、利用者にアンケートを実施
- 実証実験結果から、新技術導入に関する住民ニーズ、課題を整理し、ビジネスモデルの構築に向けた官民および周辺事業者の連携方策について整理した。